



2022-23 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
RI 2820地区ガバナー 大野 治夫

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2159・2160合併号 2023年2月2日発行
平和構築と紛争予防月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
加盟：1978年4月14日
例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
電話 0479(48)0333
例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分
○会 長 安 藤 寿 博
○会長ニレト兼副会長 篠 塚 茂 男
○幹 事 金 子 大 作
○副 幹 事 遠 藤 貴 之

第2158(25回) 例会報告

令和5年1月21日(土)晴れ
進行：後藤SAA

本日のお客様:なし

◇ 会長あいさつ安藤(寿) 会長

今日は第三例会に出席いただきありがとうございます。昨年の暮れから、間違われることが続いていまして、ゴルフコンペの昼食時のドリンク代が4人分自分の会計に入っていたり、神社の大麻を間違われたりと3回ほど続きましたので、これからは大丈夫かと思っています。なんと3回目は今日の開催時間を30分勘違いしたことです。今日は、皆様お集りのところ遅刻をいたしまして申し訳ございません。今後十分気を付けます。



◇ 幹事報告金子幹事

1. IMの件

日 時 2月19日(日) 10:00 ~ 13:30

場 所 鹿島セントラルホテル

参加方法 各自現地集合



◇ 新年の抱負

○ 金子会員

昨年の10月、11月と二人の娘の結婚式があり、ばたばたした2022年の後半でした。本年は、年男の還暦です。今までの人生を振り返り新たな気持ちで進んでいこうと思っています。厄年であるということもあり、普段は特に初詣をしていませんでしたが、元日から初詣に行ってきました。落ち着いた新年を過ごすことが出来ました。うさぎ年です、



ぴょんぴょん跳ねて頑張りたいと思います。

○ 西條(昌) 会員

時間があつたので、改めて西條家の家系を確認したく岐阜県の親戚へ行って来ました。ちょうどそちらで家系を調べていたところで、完成させてくださいとお願いして来ました。



第2159(26回) 例会報告

令和5年1月26日(木)晴れ
進行：後藤SAA

本日のお客様：赤出川清様(元会員)、岩井昭一様(鹿島臨海RC)

◇ 会長あいさつ ……………安藤(寿)会長

このところ、最強寒波の影響で、各地の混乱しているニュースが放送されていますが、皆さん仕事に影響はなかったでしょうか。私も雨と雪でゴルフが2日とも中止になりました。また自宅の日陰にある水道は凍ったままです。

しばらくぶりの寒さに震えています。風邪をひかないよう体調に十分注意してください。「人生の残り日数は、日を追うごとに短くなる。」

自分が何をすべきか？何をしたいのか？ 大事な時間を過ごしていきましょう。



◇ 幹事報告 ……………金子幹事

1. 2月第一例会に銚子ロータリークラブより4名お見えになります。
2. 第3例会と第4例会の週報は、合併号として2月第1例会に発行します

◇ 委員会報告

○ 職業奉仕委員会 ……………篠塚委員長

・第2回地区職業奉仕セミナーに出席して

「寄り添いの経営」香川県にある徳武産業株式会社 取締役会長 十河孝男氏の講演によるセミナーでした。

ロータリークラブの職業奉仕に関する講演でしたので、経営で利益追求のお話ではなく職業を通して社会に、貢献する事の大切さを学ぶ講演でした。

家庭用スリッパや上履き、学童用のシューズを大手靴メーカーの下請けやOEMを長い間続けてきたが、OEMビジネスからの転換を決意した、ある日、特養施設園長から「お年寄りが転ばない靴を作ってほしい」と依頼がありました。

そこで「新しい介護シューズに挑戦を決断」するが社内では猛反対を受けて職人や社員を何とか説得したが、伸びない売上で創業以来初の赤字決算となり、厳しい状況が続いた。いろいろと靴について調べると共に、2年間で500人のお年寄りの声を聴きました。

リュウマチで右左の大きさや、指が曲り普通の靴が履けない片方の足や、右左でサイズの違う足等に対応する為の努力を続け、片方だけの靴も制作して、障害を持った方々にも対応した製品を作る事で、購入して頂いた方々より、大変多くの感謝の手紙を頂いているとの事でした。因みに介護シューズの市場において、介護シューズシェア55.8%日本一の会社になりました。

職業を通して、利益だけの追求だけでない物を、考えて行く事も大切であると思いました。



- IM実行委員長 ……………岩井委員長
2月19日に鹿島セントラルホテルにおいてIMが開催されます。



内容としては、講演が90分。そして昼食となります。皆様の参加をお願い致します。

- 赤出川清 元会員

まだまだお元気ですが、免許証の返納等がありご家族で協議して12月末で退会という事になりました。本日は、無理をお願いして例会にご出席いただき、思い出話し等伺いました。原稿をいただき次第週報に掲載させていただきます。



入会日 1981年12月1日

米山功労者 第4回マルチプル マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 第3回

役職 1990～91年 幹事 1994～95年 18代会長

その他委員長・副委員長・理事等多数

◇ 新年の抱負

- 遠藤会員

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は「人と出会う」を大きなテーマとしスローガンは「理念の達成のために行動する」とした1年であり多くの人と出会うことができました。



昨年を振り返りあらためて感じることは、行動することは多様な価値観と優先順位を受け入れることであり、自分以外の人々の目指す生き方を尊重ながらも協調していくことだと感じました。共通の土台のうえでも方向性を合わせることは本当に難しいことだと知らされました。

本年のテーマも「人と出会う」としスローガンは「今を大切に未来へ向けた行動をする」としました。昨年一年でコロナにより日本社会の停滞は大きな変化をもたらした価値観の変化と日常の貧しさを感じています。

本年のスローガンでの「今を大切に未来へ」とは、変化した価値観、倫理観をもう一度考え直し、未来に向けて伝承、再構築していくことだと考えます。今の社会は個人の自己実現を優先し地域社会の安定を築くことも困難な混沌とした時代となり、積み上げてきた社会システムが崩壊するような状況になってしまいました。手段を択ばない自己主義の時代からの変化が必要とされているように思えます。

失ってしまった友との新たな出会いは再び訪れることはありません。

昨年の伊藤さんとの永遠の別れは私自身に大きな衝撃と変化をもたらしました。今年からは出会うの本質を見つめて優しい自己をめざします。

地域社会の未来のために厳しい人として一年頑張っていきます。

◇ シェルターボックス:災害救援におけるグローバルなパートナー

災害救援団体として世界的に知られるシェルターボックスは、年に8~10の家族を支援するロータリークラブのプロジェクトとして始まりました。以来、シェルターボックスはロータリーの重要なパートナー団体の一つとなっています。過去20年間、多くのロータリー会員とクラブからのサポートにより、シェルターボックスは活動の柔軟性と規模を広げ、これまでに世界で支援してきた自然災害や紛争の被災者の数は200万人以上に上ります。

シェルターボックスの災害対応戦略では、ロータリー会員が大きな役割を担っています。ロータリークラブとローターアクトクラブは現地で幅広い人脈があります。このため、災害後にシェルターボックスが最初に連絡するのがこれらのクラブであることも少なくありません。また、シェルターボックスによる災害救援活動の多くにロータリー会員が参加しています。

シェルターボックスからの救援物資はさまざまな方法で届けられます。オリジナルの緑色の大きなボックスで届くこともあれば、ボランティアのチームがボートやヘリコプター、トラック、徒歩でキットを持参する場合もあります。シェルターボックスとロータリーのロゴが入った緑色のボックスには、気候耐性のファミリーサイズのテントに加え、ソーラーライトや調理器具などの物資が入っています。

現地で救援活動を行うボランティア（厳しい研修プログラムが義務づけられている）としてだけでなく、ロータリーはさまざまな形で救援活動を支援しています。シェルターボックスの救援チームは、現地のロータリー会員からの報告を基に、被災地の状況を把握し、運転手や交通手段、宿泊場所、通訳などを手配します。ロータリー会員はまた、関税や輸入の手続き、物資の保管場所や倉庫の確保、現地の自治体や政府担当者とシェルターボックスチームのつなぎ役といった援助も行います。

これに加え、ロータリーのクラブとボランティアは長期的な活動でも極めて重要な役割を担っています。地域に根づいて活動するロータリー会員は、救援団体による緊急対応が終わった後も、長期的な復興のために人びとと協力していくことができます。

両団体は互いに知識・情報を交換しています。ロータリークラブとローターアクトクラブは、被災地を助けたいという思いを、現地のニーズやパートナー団体からの情報を基に具体的かつ効果的な対応につなげる方法を、災害救援のエキスパートであるシェルターボックスから学ぶことができます。

モニタリング、評価、地域社会からのフィードバックを改善に生かすことを重視するシェルターボックスは、ロータリーと会員が災害救援の最新のベストプラクティスを学べるよう援助するとともに、クラブが知識を備え、災害に対応できるようにする方法を提示しています。

気候変動が引き起こす自然災害は、紛争をもたらす被害を上回りつつあり、このパートナーシップのニーズが減る兆候はありません。世界の多くの地域で、今後は気候関連の第一の災害として洪水が増えると予測されています。海水温の上昇は、これまでより広い地域で大雨をもたらすことになるでしょう。ほかの地域でもより多くの干ばつが起きると予想されており、最近の東アフリカでの干ばつでは約5,000万人が食料不足に直面し、100万人以上のソマリア人が故郷を離れることとなりました。シェルターボックスの調査によると、今後20年間に気候変動が原因で1億6,700万戸の家が失われると予測されています。

こうしたニーズによりよく対応するには、よりよい備えが必要とされます。だからこそシェルターボックスは、ロータリークラブ、ローターアクトクラブと積極的に協力して対策を整え、堅固なネットワークを築き、国際レベルや地区とクラブでの活動（ローターアクト会員とインターアクト会員も含む）で会員が最新の知識をもって持続可能なソリューションを生み出せるようにしています。

例会や行事にシェルターボックスから講演者を招くことや、地元でのシェルターボックスとの協力や災害対策について関心のある方は、rotaryrequest@shelterbox.orgにご連絡ください。

ロータリークラブHPより

◇ 出席報告 菅谷出席委員長

例会	項目	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
				出席	メイク	
第1例会		12会員	12会員	出席: 9	メイク: 4	108.34%
第2例会		12会員	12会員	出席: 8	メイク: 5	108.34%
第3例会		12会員	12会員	出席: 8	メイク: 1	75.00%
第4例会		12会員	12会員	出席: 8	メイク: 0	66.67%
1月度平均						

1月度出席表 出席:○ 欠席:/ M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	5日	12日	21日	26日	出席数	M数	会員名	5日	12日	21日	26日	出席数	M数
安藤 信一	/	/	/	/	0	0							
安藤 寿博	OM1	OM1	○	○	4	2							
泉 純一郎	OM1	OM1	○	○	4	2							
遠藤 貴之	/	/	/	○	1	0							
金子 大作	OM1	OM1	○	○	4	2							
後藤美紀代	○	○	○	○	4	0							
才賀 秀樹	○	/	/	/	1	0							
西條 健一	OM1	○	○	○	4	1							
西條 昌良	/	/	○	/	1	0							
篠塚 茂男	○	OM1	OM1	○	4	2							
菅谷 昭夫	○	○	/	○	3	0							
高橋 佑至	○	OM1	○	/	3	1							

メイクアップ 1/21 地区職業奉仕セミナー(ホテル日航つくば) 篠塚会員

◇ ニコニコBOX報告 西條(健)親睦委員長

安藤寿博 赤出川さん、お疲れ様でした ¥2,000

赤出川清 様 ありがとう ¥10,000

岩井昭一 様 今年も宜しくお願い致します ¥2,000

ニコニコBOX 14,000円
 コインBOX 600円
 ビジター(0件) 円
 合計 14,600円

ニコニコBOX	
1週	19,000円
2週	0円
3週	0円
4週	14,000円
月計	33,000円
累計	247,000円

コインBOX	
1週	1,100円
2週	1,213円
3週	0円
4週	600円
月計	2,913円
累計	19,560円

2月の予定 9日 19日 IM
 23日 休会